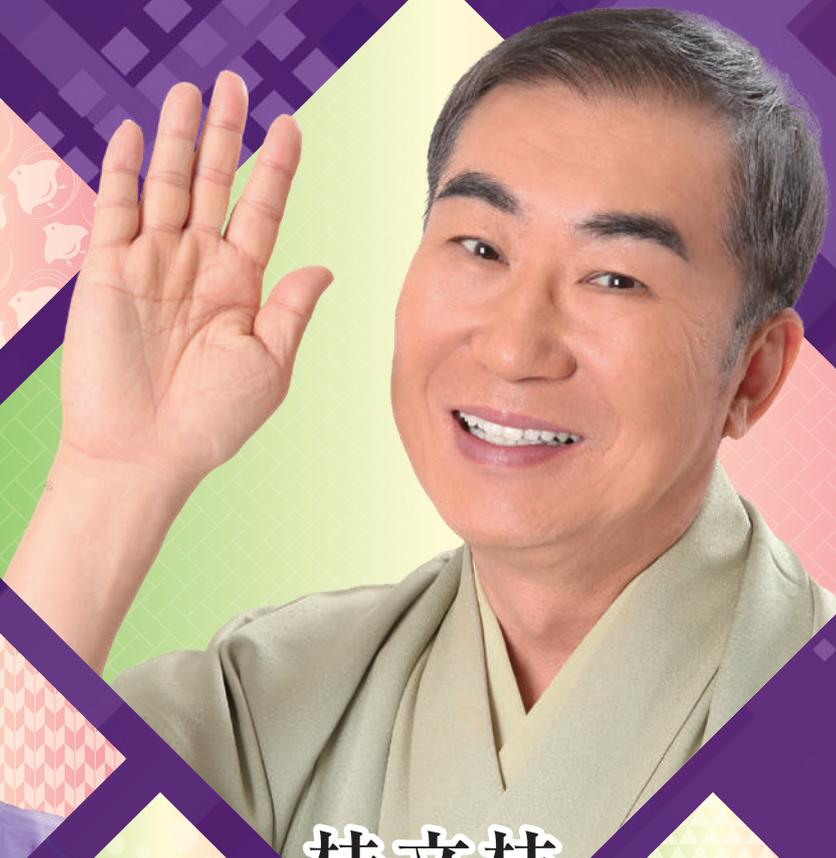




桂小春團治



桂文枝



桂九雀



ゲスト  
三遊亭白鳥



笑福亭松喬



林家染太

2022.6.12日 14:00開演 (13:30開場)

茨木クリエイイトセンター・センターホール

[全席指定] 1階席 4,000円 / 2階席 3,500円

65歳以上、障害者及びその介助者 各500円引き / 青少年(24歳以下) 1,000円

茨木市観光協会、茨木市勤労者互助会、OSAKAメセナカード各会員は10%引き (この取扱いは財団のみ)

※就学前のお子様はご遠慮ください

予約受付開始 4月8日(金) 10:00~

主催：(公財) 茨木市文化振興財団 制作：三栄企画 構成・解説：相羽秋夫  
後援：茨木商工会議所 / 茨木市観光協会

# 上白流競演会

# 「創作落語特集」で新鮮な作品を満喫下さい

お待たせしました。コロナの影響で2年間もの空白があったこの落語会が、再び茨木の街に帰ってきました。

そして、今回は「創作落語特集」です。落語は、創られた時期によって古典・改作・新作に分けます。主に江戸時代に創られた作品を古典、それを現代風に大きく手を加えたものを改作、主に太平洋戦争後に生まれたものを新作と呼びます。

こうした状況の中で、今回トリを勤めます6代桂文枝が、1981年（昭和56年）に、現代を生き生きと活写した落語をどんどん作ろう、それを「創作落語」と呼ぼうと提唱し、「創作落語の会」をスタートさせます。

この先見の明が実を結び、それから40年、おびただし創作が誕生しました。文枝自らもなんと200作以上の名作を世に出しました。上方では、新作を創作と呼ぶことが、すっかり定着したのです。

落語家の中にも、古典派と創作派、その両方をこなす派と3分されるようになりまし。創作テラーの評価を得ている人もたくさん存在します。現上方落語協会会長の笑福亭仁智もその一人です。6代文枝、仁智、2代続けて創作派の会長が上方落語界をリードしているわけです。

そこで、当落語会では、上方落語界を支える5つの流派の中から、優秀な創作得意にしている演者をピックアップし

て、「創作落語特集」を組むことになりました。

創作には、小佐田定雄、くまざわあかねをはじめ数人の落語作家の作品もありますが、たいていは自作自演が多く、それぞれの個性が際立った、笑いの多い傑作が生み出されています。

特集に加えて今回は、演目を当日まで秘しておきます。演者が高座に上がり、皆さん方のお顔を拝見してから演ずる内容を決める、という本来の寄席のスタイルをとることにしました。開けてビックリ玉手箱、楽しさも倍加することでしょう。

それでは、5流派の精鋭を出演順にご紹介することにしましょう。

先陣を切る林家一門の林家染太は、愛媛県松山市の生まれ。関西大学卒業後、4代目染丸に入門。24年目の中堅である。早くから英語落語にも意欲を示し、エンターテインメントとしての落語を目指す。さて、どんな創作を披露するか。

続いて笑福亭一門の7代目笑福亭松喬は、兵庫県西宮市生まれ。大阪産業大学卒業後、6代目松喬に入門して笑三、三番を経て師匠の名を継いだ。4人の弟子を持つ39年目だ。盗賊をテーマの創作で新境地を開いた。

中入りの春團治一門の3代目桂小春團治は、大阪市の生まれ。立命館大学修



相羽秋夫（演藝評論家）

学中に3代目春團治に入門。春幸、小春から現在名に。45年目のベテラン。創作派の有力な一人。コンピュターを導入したユニークな作品もある。

中入り後は、米朝一門の桂九雀。広島市で生まれ、大阪の箕面高校を卒業。2代目枝雀に入門した。落語と芝居をミックスした「嘶劇」を考案するなど、多方面にわたる活躍を見せている。43年目の話芸が冴える。

大トリは、文枝一門の6代桂文枝だ。大阪府堺市の生まれ。関西大学卒。5代目文枝に入門し三枝。師の名を継ぐ56年目の大御所だ。創作イコール文枝の存在は、この会には欠かせぬ存在である。どんな作品が飛び出すか？

東京落語のゲストは、三遊亭白鳥。ハクチョウと読んで欲しい。新潟県上越市の生まれ。日本大学卒業後、三遊亭圓丈に入門し、にいがた、新型、新潟を経て現在名で真打に。37年目。東京の新作派の旗手として大活躍している。

見よ！この堂々たる顔ぶれを！  
創作落語会として、こうした重量感のあるメンバーは、そう実現するものではないありません。どうかお聴き逃がしのないように、チケットのご購入をお早目におすませ下さい。  
(敬称略)

## 〈チケット取り扱い〉

※発売初日の電話受付はたいへん込み合う為つながりにくいことがあります。財団web、ぴあ、ローソンチケットをぜひご利用ください。  
※ぴあ・ローソンチケットでも座席選択できます。(ぴあ) webのみ (ローソンチケット) 4月9日~webのみ

- 茨木市文化振興財団・文化事業係 072-625-3055 (10:00~17:00) www.ibabun.jp
- 【窓口】 チケットカウンター クリエイトセンター1階 福祉文化会館3階 (10:00~17:00)
- チケットぴあ (Pコード511-124) http://pia.jp セブン-イレブン各店舗
- ローソンチケット (Lコード53288) http://l-tike.com/ローソン・ミニストップ各店舗

## 〈茨木市文化振興財団でのチケット予約・購入について〉

\*発売初日はweb・電話予約のみ (チケット引取り・窓口販売は翌日から)、初日電話予約は1回につき6枚まで

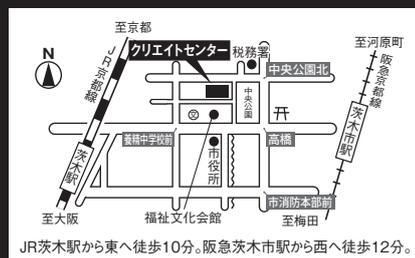
- 〈予約〉お引き取り (予約方法により選べる引取り方法が異なります)
  - ◆電話予約 / web購入 ▶ 窓口・郵送・コンビニ (ファミリーマート・セブン-イレブン) ※手数料料
  - ◆コンビニ購入 ▶ ファミリーマート (famiポート) ※手数料料
- (郵便局での払い込み / 郵送をお選びの場合) 予約後、郵便局の「払込取扱票」でチケット代金+手数料をお支払いください。
- 口座番号: 00970-7-190576、  
加入者名: 茨木市文化振興財団、通信欄に ①予約番号 ②公演名 ③枚数をご記入ください。

## ■公演に関するお問合せ

茨木市文化振興財団・文化事業係 072-625-3055 (クリエイトセンター1階 10:00~17:00)

## 〈感染症予防についてのお願〉

ご来場の際は、感染症予防にご協力くださいますようお願いいたします。詳しくは茨木市文化振興財団webサイトにて最新の情報をご確認ください。



JR茨木駅から東へ徒歩10分。阪急茨木市駅から西へ徒歩12分。  
クリエイトセンター (茨木市市民総合センター)  
大阪府茨木市駅前四丁目6番16号 **ibabun** 検索  
072-624-1726